

北陸と関西を結んだ北国街道の宿場町、ここ木之本宿には多くのお店が並び、呉服屋さんの数も10軒はくだらなかったといいます。

衣類の中心は洋服へと移り、着物は特別なときに身につけるものへ、さらに箆笥の中に眠ったままの存在になってしまいました。

本展では、地元の洋裁サークル「木之本ソーイングクラブ」が、こうした着物を洋服や小物にリメイク、作品として展示します。

嫁入り道具としてあつらえたもの、家族のお気に入りの浴衣、いつか仕立てようと思っていた反物……生地をときほどくのは思い出を分解するような切なさがあったものの、着物たちの新しく生きる道を拓きました。

木之本宿ならではのスポットで写真撮影した、実際の着用シーンも一緒にお楽しみください。



きのもと街道文化祭

KIMONO リメイク展

2024年8月10日(土)～25日(日)まで

入場無料・会期中無休

【会場】 きのもと交遊館1階ホール

【時間】 10:00～16:00

【展示期間中同時開催】

『ハギレワークショップ』(サコッシュづくり)と

『ハギレマルシェ』 8月17日(土)・18日(日)

※詳しくは裏面をご参照ください

【協力】 作品制作／木之本ソーイングクラブ

作品提供／Kimono Kirumono CYCLE PROJECT

写真撮影／長浜ローカルフォト

主催 きのもと街道ぶらり人実行委員会 木之本自治会女性部

後援 長浜市

【問い合わせ】 きのもと交遊館 0749 82 6311まで



Remake リメイク服制作

木之本ソーイングクラブ

木之本を拠点とする洋裁サークル。旧木之本町公民館事業の洋裁教室をきっかけに、改めて結成し、約 22 年が経ちます。当初から講師に清水京子さん（本庄町・ものづくりマイスター）を迎え、現在は長浜市内外の 50～80 代の女性 17 人が会員登録、毎週火曜午後北部の合同庁舎の一室で活動を行っています。

作りたい洋服や小物をメンバー各々のペースで自由に作業し、随所で清水さんから手ほどきしてもらおうというスタイル。「みんなと会ってしゃべって作るのが楽しい」場がモットーで、アットホームな雰囲気が長く続く理由の一つになっています。



Event イベント

8月17日(土)・18日(日)

13:00～15:00

きのもと交遊館 1階ホール

2つのイベントを同時開催!

ハギレワークショップ

着物のハギレでサコッシュ

(ショルダーバッグ)を作しましょう

【定員】各日 10 人 (要申込・先着順。ミシン初心者、小学生、親子も歓迎)

【受講料】1000 円 / ペア割 1800 円

【申込】7/1～8/1 までに、きのもと交遊館 (0749-82-6311) へ。(火曜休館)

ハギレマルシェ (予約不要)

和柄、レース、シーチング等様々な種類のハギレを販売。期間中自由にご来場ください。50cm 平方から大きなものまで。掘り出し物があるかも!!

(1束 100 円～)



Photo 写真撮影

長浜ローカルフォト

「写真でまちを元気に!」をテーマに、写真を通じて長浜の暮らしを発信する市民団体。長浜市の地域創生講座を前身に 2019 年に発足、現在 8 人で構成。撮影するのは市内に住む人やその暮らしぶり。人々の営みが積み上げる日常を切り取り、地域内外へ SNS などで紹介。自分たちの暮らす地を改めて見直し愛着を

高めるきっかけに、そして長浜へ関心をもってもらう人を増やす機会へとつながります。



Guest ゲスト作品

Kimono Kirumono CYCLE PROJECT

(キモノ キルモノ サイクル プロジェクト)

京都芸術大学空間演出デザイン学科ファッションデザインコース専任講師の伊藤正浩とファッションブランド「01u10」(ゼロイチユエイチゼロ)の伊藤広宣が共同で立ち上げたプロジェクト。衣類の短サイクルな廃棄問題の解決方法のひとつを提案するとともに、減少しつつある和裁技術への関心を広げるための試み。株式会社後藤和裁(名古屋)の協力を得て、和裁の技術に着目し、着物と洋服・洋服と洋服を相互に行き来することができる循環型ファッションの製品開発を研究している。研究発表として「Kimono Kirumono CYCLE PROJECT 展」を開催。第1回を2021年12月に京都にて、第2回を2023年2月に名古屋で実施している。

